

新薬開発状況

(2017年10月現在)

前回の決算発表時(2017年7月28日)からの変更箇所を下線

がん領域 (1/2)

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体阻害剤	転移性去勢抵抗性前立腺がん(錠剤)	承認(2017年9月)/欧州	経口	Pfizer	剤形追加
		去勢抵抗性前立腺がん(錠剤)	申請(2016年9月)/日本			剤形追加
		非転移性去勢抵抗性前立腺がん	P-III/米国、欧州、アジア			効能追加
		非転移性生化学的再発前立腺がん	P-III/米国、欧州、アジア			効能追加
		転移性ホルモン感受性前立腺がん	P-III/米国、欧州、日本、アジア			効能追加
		肝細胞がん	P-II/米国、欧州、アジア			効能追加
ASP2215 ギルテリチニブ	FLT3/AXL阻害剤	急性骨髄性白血病	P-III/米国、欧州、日本、アジア	経口	自社	
ASP3550 デガレリクス	GnRH受容体アンタゴニスト	前立腺がん(3か月製剤)	P-III/日本	注射	Ferring	剤形追加
AGS-16C3F	ENPP3を標的とするADC	腎細胞がん	P-II/米国、欧州	注射	自社 (ADC技術をSeattle Genetics から導入)	
IMAB362	抗Claudin 18.2モノクローナル抗体	胃食道接合部腺がん	P-II/欧州	注射	自社 (Ganymed)	
ASG-22ME enfortumab vedotin	ネクチン4を標的とするADC	尿路上皮がん	P-II/米国 P-I/日本	注射	自社 [Seattle Geneticsと 共同開発]	
AMG 103 ブリナツモマブ	抗CD19 BiTE抗体	急性リンパ性白血病	P-II/日本	注射	Amgen [アステラス・アム ジェンと共同開発]	
AGS67E		悪性リンパ腫	P-I	注射	自社 (ADC技術をSeattle Genetics から導入)	

がん領域 (2/2)

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考
AGS62P1		急性骨髄性白血病	P- I	注射	自社 (EuCODEを用いた ADC技術を Ambrxから導入)	
ASP8374/PTZ-201		がん	P- I	注射	Potenza Therapeuticsとの オプション契約	

前回の決算発表時(2017年7月)からの変更点:

MDV3100 (エンザルタミド): 転移性去勢抵抗性前立腺がん(錠剤)で、2017年9月に欧州で承認を取得した。

ASG-15ME: Phase I 段階にあった、尿路上皮がんを対象疾患とした開発を中止した。

ASP4132: Phase I 段階にあった、がんを対象疾患とした開発を中止した。

ASP8374/PTZ-201: がんを対象疾患とした開発を開始した。

泌尿器及び腎疾患領域

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考
YM905 ソリフェナシン	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の神経因性膀胱	申請(2017年2月)／米国 申請(2017年4月)／欧州	経口	自社	効能追加 (小児)
EB178 ソリフェナシン／ ミラベグロン	ソリフェナシンとミラベグロンの併用療法	尿意切迫感及び頻尿の症状を伴う過活動膀胱	申請(2017年6月)／米国	経口	自社	
ASP1517 (FG-4592) ロキサデュスタット	HIF安定化剤	慢性腎臓病(保存期及び透析期)に伴う貧血	P-III／欧州 P-III／日本	経口	FibroGen	
YM178 ミラベグロン	β ₃ 受容体作動薬	小児の神経因性膀胱	P-III／欧州	経口	自社	効能追加 (小児)
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	P-II／欧州 P-I／日本	経口	FibroGen	
ASP8232	VAP-1阻害剤	糖尿病性腎症	P-II／欧州	経口	自社	
ASP6294	神経成長因子中和抗体	膀胱痛症候群／間質性膀胱炎	P-II／欧州	注射	自社	
ASP6282		低活動膀胱	P-I	経口	自社	
ASP7398		夜間頻尿	P-I	経口	自社	
ASP8302		低活動膀胱	P-I	経口	自社	
ASP7713		低活動膀胱	P-I	経口	自社	

前回の決算発表時(2017年7月)からの変更点:

免疫科学及び神経科学領域

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	備考
FK506 タクロリムス	免疫抑制剤	臓器移植における拒絶反応の抑制(小児用顆粒製剤)	申請(2017年7月)/米国	経口	自社	剤形追加
ASP015K ペフィシチニブ	JAK阻害剤	関節リウマチ	P-III/日本、アジア P-II/米国、欧州	経口	自社	
ASKP1240 bleelumab	抗CD40モノクローナル抗体	生体腎移植患者における再発性巣状系球体硬化症	P-II/米国	注射	協和発酵キリン	
ASP1707	GnRH受容体アンタゴニスト	関節リウマチ	P-II/日本	経口	自社	
ASP7962	TrkA阻害剤	変形性関節症	P-II/欧州	経口	自社	
ASP8062	GABA _B 受容体陽性アロステリック 修飾物質	線維筋痛症	P-II/米国	経口	自社	
ASP0819	カルシウム活性化カリウムチャネル 開口薬	線維筋痛症	P-II/米国	経口	自社	
ASP4070 (JRC2-LAMP-vax)	スギ花粉DNAワクチン	スギ花粉症	P-II/日本	注射	Immunomic Therapeutics	
ASP5094	抗alpha-9インテグリン モノクローナル抗体	関節リウマチ	P-II/日本	注射	自社	
ASP4345		統合失調症に伴う認知機能障害	P-I	経口	自社	
ASP0892		ピーナッツアレルギー	P-I	注射	Immunomic Therapeutics	
ASP1807 (CC8464)		神経障害性疼痛	P-I	経口	Chromocell	
ASP6981		統合失調症に伴う認知機能障害	P-I	経口	自社	

前回の決算発表時(2017年7月)からの変更点:

FK949E(クエチアピン):2017年7月に日本で承認を取得したビプレッソ錠(双極性障害におけるうつ症状の改善)を削除した。

その他

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	備考
AMG 785 ロモズマブ	抗スクレロシンモノクローナル抗体	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	申請(2016年12月)/日本	注射	Amgen [アステラス・アム ジェンと共同開発]	
イブラグリフロジン/ シタグリプチン	イブラグリフロジンとシタグリプチンの 配合剤	2型糖尿病	申請(2017年5月)/日本	経口	自社 [MSD、寿製薬と 共同開発]	
ASP0456 リナクロチド	グアニル酸シクラーゼC受容体作動薬	慢性便秘症	申請(2017年9月)/日本	経口	Ironwood	効能追加
フィダキソマイシン	大環状抗菌剤	感染性腸炎(適応菌種:クロストリジウム・ディフィシル)	申請(2017年7月)/日本	経口	Merck	効能追加 (小児)
		小児におけるクロストリジウム・ディフィシル感染症	P-III/欧州			
ASP1941 イブラグリフロジン	SGLT2阻害剤	1型糖尿病	P-III/日本	経口	自社 [寿製薬と共同 開発]	効能追加
ASP0113 (VCL-CB01)	サイトメガロウイルスDNAワクチン	造血細胞移植時のサイトメガロウイルス感染抑制	P-III/米国、欧州、日本	注射	Vical	
ESN364 fezolinetant	NK3受容体拮抗薬	更年期に伴う血管運動神経症状	P-II/米国	経口	自社 (Ogeda)	
ASP1707	GnRH受容体アンタゴニスト	子宮内膜症	P-II/欧州、日本	経口	自社	
CK-2127107	速筋トロポニン活性化剤	脊髄性筋萎縮症	P-II/米国	経口	Cytokinetics	
		慢性閉塞性肺疾患	P-II/米国			
		筋萎縮性側索硬化症	P-II/米国			
ASP7317	細胞医療(網膜色素上皮細胞)	萎縮型加齢黄斑変性、Stargardt病	P-II/米国	注射	自社 (Astellas Institute for Regenerative Medicine)	
MA-0211		デュシェンヌ型筋ジストロフィー	P-I	経口	Mitobridgeとの オプション契約	

前回の決算発表時(2017年7月)からの変更点:

ASP0456 (リナクロチド): 慢性便秘症を適応症として、2017年9月に日本で製造販売承認申請を行った。

フィダキソマイシン: 感染性腸炎(適応菌種:クロストリジウム・ディフィシル)を適応症として、2017年7月に日本で製造販売承認申請を行った。